

自然素材と北欧家具のコラボで
新感覚の和モダン住宅が実現

Check

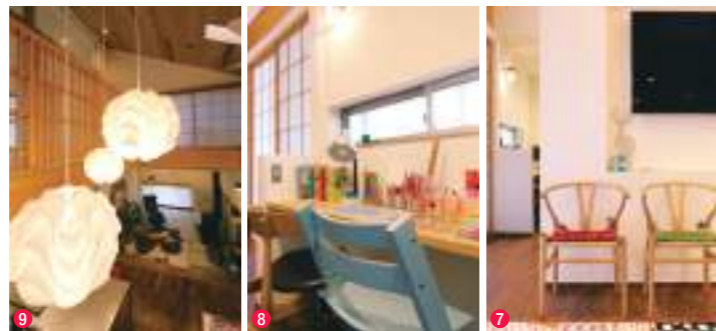
自然素材と北欧家具が
コラボした斬新なLDK
無垢の床と珪藻土の塗り壁、気品ある
千本格子など、風情漂う京都の町屋の
ような空間に、おしゃれな北欧のデザ
イナーズ家具が絶妙にマッチした。



Check
 土間は薪ストーブ・千本格子が彩るセカンドリビングに
 薪ストーブと千本格子のある土間は、リビングから一段下げたラウンジビッドにして、空間に変化を。家族で炎を囲みながらかけがえない時間を共有する。



⑥ダイナミックなリビングの吹き抜けがより開放感を演出。無垢の木と自然素材に包まれて、いつもきれいな空気が流れている ⑦杉板で造作した大容量の玄関収納は、大工の手仕事を感じる



⑧⑨ル・コルビジエのリクライニングチェア、ハンス・ウェグナーのYチェア、ストックの子ども椅子、レ・クリントの照明など、北欧のデザイナーズ家具で和の空間をコーディネート。日本の自然素材と北欧家具の相性がいいことを改めて実感する ⑩薪ストーブは岐阜まで足を運んでお気に入りを選びました。暖をとるだけでなく、ピザや煮込み料理もできるので、ホームパーティでも喜ばれる



2

DATA

設備
 ①丸昇彦坂建設
 ②敷面 249.06㎡ (75.34坪)
 ③延床 142.92㎡ (43.23坪)
 ④工法 木造軸組工法
 ⑤期 5か月

素材
 ●外部仕上げ
 ①平瓦、一部ガルバリウム鋼葺き
 ②ジョリパッド吹付け仕上げ
 ●内部仕上げ
 ③床 無垢フローリング、土間打ち
 ④壁 珪藻土吹付け
 ⑤天井 珪藻土吹付け、杉板張り
 ⑥窓 高性能ガラス



⑭将来は棚で間仕切りする子ども部屋。寝るための空間にしようとして、1人3畳ずつの広さに ⑮スリット窓から庭が見える1階のフリースペース。オブジェのような鉄骨階段もおしゃれ ⑯ゆったりサイズの洗面台で、朝の混雑も解消



3

⑲庭を一望できる屋根付きのウッドデッキは、京都の老舗和菓子店の雰囲気参考に設計した。「ここで酒やコーヒーをいただくひとときが最高なんです」と声を揃えるご夫妻 ⑳平屋のように見える落ち着いた佇まいの外観。外から庭が見えないように配慮されている ㉑ダイニングテーブルと一体型のスタイリッシュなオーダーキッチン

丸昇彦坂建設

まるしょうひこさかけんせつ

☎050-5851-0683 (イエタテ専用ダイヤル)

〒豊橋市大崎町字伊豆沢 37-1
 施工エリア 東三河全域

WEB イエタテ で詳しい情報を見る

イエタテ 丸昇彦坂建設 検索

会社情報 373 ページ
 資料請求ハガキ 425 ページ A

スタッフから一言！



設計 朝倉 祥平さん

スタイリッシュが好きなご主人と和風が好きな奥さま。お二人の相反する要望を叶えるため、自然素材に北欧家具をマッチングさせた新和風のモダン住宅を提案しました。

新築したきっかけは？
 結婚当初から自分たちの家をいつかは持ちたいと考えていました。そのために家づくりの勉強を重ね、「京都の町屋」をテーマにした家建てようと思いました。

読者へのアドバイス
 どんな家で、どんな風に暮らしたいのか？ 家族それぞれの1日の生活動線は？ などを整理した上で工務店さんに相談しましょう。自分でも勉強することが大事です。

この会社に決めた理由は？
 時間をかけて、いろいろな住宅会社を回りましたが、私たちが求めている理想の空間や機能性、そして価格がすべて合致したのが『ヒコケン』さんだったから。

この会社で建ててよかったことは？
 見た目のデザインはもちろん、機能性や動線もしっかりと考えて間取りが造られているので、とても暮らしやすいです。理想以上の住まいになり、大満足です。

施主さんに聞きました

【豊橋市 Y邸】
 夫+妻+長女+次女

「古都の町屋のような家」を目指し、豊橋から何度も京都に足を運んで新居のイメージを固めたご夫妻。外観は純和風の平屋のような佇まいだが、室内は和の趣を感じながらも重くならないよう、柱や梁の見えるポリュームに配慮した。

玄関を過ぎると、天井を低く抑えた土間があり、薪ストーブの木が奏でるパチパチという音を聞きながら、家族の贅沢な時間が流れる。ここから一段上がったLDKは吹抜けの大空間で、思わず深呼吸したくなるほど気持ちいい。「日本庭園は北を愛でよ」という格言に則り、リビング北側の障子を開けると、美しい庭の景色が広がる。大きなウッドデッキを介して外と内が程よくつながり、より開放感を得られる。コテコテの和風住宅が苦手というご主人の声に応え、呼吸する天然木と自然素材に包まれた和の空間に、ステンレスのオーダーキッチンやアイアン、北欧のデザイナーズ家具など、洋の素材をマッチングさせ、新しい感覚の和モダンスタイルを実現した。

デザインだけでなく、共働き夫婦の負担を軽減するため、「時短・効率・子ども自立」を目指したスマートな家事動線と、自然に手伝いたくなるようなアイランドキッチンを装備。娘さんたちが巣立った後のことも考え、2階の子ども部屋は3畳ずつ。いつも1階に家族が集まる「現代の町屋」は、取材を終えても帰りたくないほど居心地が良かった。